

地理歴史・公民・数学

(1～60ページ)

注 意

- 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- この問題用紙には、次の5科目の問題が収められています。
 地理総合・地理探究 (1～16ページ)
 歴史総合・日本史探究 (17～30ページ)
 歴史総合・世界史探究 (31～40ページ)
 公共，政治・経済 (41～52ページ)
 数 学 (53～60ページ)
- 5科目の中から1科目を選択し、解答は解答用紙にマークしなさい。解答用紙は5科目共通なので、科目によっては使用しない解答欄があります。
- 解答用紙に受験番号・氏名・選択科目を記入しなさい。
 受験番号と選択科目は、下記の「受験番号欄記入例」「選択科目欄記入例」に従って正確にマークしなさい。
- 試験時間は **60分** です。
- 試験開始後、問題用紙に不備 (ページのふぞろい・印刷不鮮明など) があったら申し出なさい。
- 問題の内容についての質問には、いっさい応じられません。

解答用紙の受験番号欄記入例・選択科目欄記入例

数字の位置	受 験 番 号				
	万	千	百	十	一
0	2	/	9	0	/
1	①	●	①	①	●
2	●	②	②	②	②
3	③	③	③	③	③
4	④	④	④	④	④
5	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
6	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
7	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
8	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
9	⑨	⑨	●	⑨	⑨

数字の位置に注意してマークしなさい

「数学」を選択した場合

選 択 科 目				
○	○	○	○	●
地理総合・地理探究	歴史総合・日本史探究	歴史総合・世界史探究	公共，政治・経済	数 学

必ずマークしなさい

マーク式解答欄記入上の注意

- 解答は、HBの黒鉛筆を使用して丁寧にマークしなさい。
 《マーク例》
 良い例 ●
 悪い例 ○ × ○ ○
- 訂正する場合は、プラスチック消しゴムで、きれいにマークを消し取りなさい。
- 所定の記入欄以外には、何も記入してはいけません。
- 解答用紙を汚したり、折り曲げたりしてはいけません。

歴史総合・世界史探究

I 次のA、Bは、それぞれ中国史に関するa～dの短文から構成されている。各短文を読み、**1**～**12**の問に答えなさい。

A

- a 呉楚七国の乱がおこった。
b **2**の王莽が帝位について新王朝を建てた。
c 党錮の禁とよばれる事件がおこった。
d 武帝の時代に、**5**の提案により儒学が官学とされた。

1 下線部1に関する説明として最も適切なものを、次の1～3の中から1つ選びなさい。すべてが誤っている場合は0をマークしなさい。

1. これは、漢王朝に反発する宗教結社を主体とした反乱であった。
2. これは、漢王朝による諸侯王の権力削減に抵抗する反乱であった。
3. これは、漢王朝の帝位をめぐる皇帝一族の反乱であった。

2 空欄**2**に該当する最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 農民 | 2. 宰相 | 3. 宦官 | 4. 外戚 |
|-------|-------|-------|-------|

3 下線部3の人物に関する説明として最も適切なものを、次の1～3の中から1つ選びなさい。すべてが誤っている場合は0をマークしなさい。

1. この人物は、殷代を理想とする神権政治をおこなった。
2. この人物は、周代を理想とする復古主義的な政治をおこなった。
3. この人物は、秦代を理想とする法家思想にもとづいた政治をおこなった。

4 下線部4に関する説明として最も適切なものを、次の1～3の中から1つ選びなさい。すべてが誤っている場合は0をマークしなさい。

1. これは、宦官が反対派の官僚や知識人を逮捕して禁錮にした事件で、二度おきた。
2. これは、皇帝が反対派の外戚や宦官を逮捕して禁錮にした事件で、二度おきた。
3. これは、外戚が反対派の宦官を逮捕して禁錮にした事件で、二度おきた。

5 空欄**5**に該当する人物に関する説明として最も適切なものを、次の1～3の中から1つ選びなさい。すべてが誤っている場合は0をマークしなさい。

1. この人物は、儒教の經典の字句に注釈をおこなう訓詁学を確立した。
2. この人物は、官撰注釈書である『五經正義』を編纂した。
3. この人物は、經典の中でも特に四書を重んじ、『四書大全』を編纂した。

- 6 前ページの a～d の短文の出来事を、左から古い年代順に並べるとどのような順序になるか、次の 1～6 の中から 1 つ選びなさい。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. a→c→d→b | 2. a→d→c→b | 3. a→d→b→c |
| 4. d→a→b→c | 5. d→c→a→b | 6. d→c→b→a |

B

- a 漢の軍が、冒頓単于のもとで強大化した匈奴に大敗した。
 7
 b 班超が西域都護となって、タリム盆地を一時支配した。
 8
 c 漢の皇帝が匈奴挾撃の交渉のために、張騫を 9 に派遣した。
 d 漢の皇帝が 10 を滅ぼし、朝鮮半島に楽浪郡などの 4 郡をおいた。
 11

- 7 下線部 7 に関して、この事件がおこった時の漢の皇帝に関する説明として最も適切なものを、次の 1～3 の中から 1 つ選びなさい。すべてが誤っている場合は 0 をマークしなさい。

1. この皇帝は、郡県制と封建制を併用する郡国制を実施した。
2. この皇帝は、物資の流通と物価の安定をはかる均輸・平準法を実施した。
3. この皇帝は、南越を滅ぼして日南郡などをおいた。

- 8 下線部 8 の人物に関する説明として最も適切なものを、次の 1～3 の中から 1 つ選びなさい。すべてが誤っている場合は 0 をマークしなさい。

1. この人物は、部下の甘英を大秦国に派遣しようとした。
2. この人物は、紀伝体で『漢書』を編纂した。
3. この人物は、武帝により派遣されて大宛に至った。

- 9 空欄 9 に該当する最も適切なものを、次の 1～4 の中から 1 つ選びなさい。

- | | | | |
|----------|---------|--------|-------|
| 1. パルティア | 2. エフタル | 3. 大月氏 | 4. 鮮卑 |
|----------|---------|--------|-------|

- 10 空欄 10 に該当する最も適切なものを、次の 1～4 の中から 1 つ選びなさい。

- | | | | |
|--------|--------|---------|-------|
| 1. 高句麗 | 2. 公孫氏 | 3. 衛氏朝鮮 | 4. 新羅 |
|--------|--------|---------|-------|

- 11 下線部 11 が滅んだのと同じ世紀の出来事に該当するものを、次の 1～4 の中から 1 つ選びなさい。

- | | |
|---------|------------------|
| 1. 呉の滅亡 | 2. 北魏の太武帝による華北統一 |
| 3. 蜀の滅亡 | 4. 司馬睿による晋の再興 |

- 12 上の a～d の短文の出来事を、左から古い年代順に並べるとどのような順序になるか、次の 1～6 の中から 1 つ選びなさい。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. a→b→c→d | 2. a→c→d→b | 3. b→c→d→a |
| 4. b→a→c→d | 5. c→d→a→b | 6. c→d→b→a |

Ⅱ 次の【資料A】と【資料B】、およびそれらの【解説】を読み、[13]～[24]の問いに答えなさい。

【資料A】

重臣たちの手で城壁の門が開かれると、[13]は城内に入り預言者ムハンマド——最も良い祈りが彼のものとなりますように——が天馬ブラークに乗り天国の旅をしたときのように、ウラマーや軍人たちをひきつれ、¹⁴この都市を見て回った。(中略)そして、[13]はアヤ・ソフィアという名の教会を見ることを所望された。

(出典『世界史史料2 南アジア・イスラーム世界・アフリカ 18世紀まで』、一部、問題作成のために修正を加えている)

【解説】

【資料A】は、オスマン帝国のスルタンである[13]による征服事業を述べた文章である。彼は、【資料A】で言及される都市を首都とした後、バルカン半島とアナトリアにまたがる帝国をつくり上げた。¹⁵[13]の後継者たちも、シリアとエジプトを併合し、さらに地中海の制海権を握った。オスマン帝国はバルカン半島のキリスト教徒の子弟を徴用し、ムスリムとして教育して官僚・軍人とする[16]を採用した。近衛常備軍[17]はこの制度により育成された部隊であった。

[13] 空欄[13]に該当する最も適切な人物を、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- | | | | |
|--------------|----------|----------|-----------|
| 1. イスマーイール1世 | 2. セリム1世 | 3. セリム3世 | 4. メフメト2世 |
|--------------|----------|----------|-----------|

[14] 下線部14を首都にした国家として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- | | | | |
|------------|-----------|-----------|----------|
| 1. ファーティマ朝 | 2. ビザンツ帝国 | 3. アッバース朝 | 4. ウマイヤ朝 |
|------------|-----------|-----------|----------|

[15] 下線部15に該当する最も適切な人物を、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- | | | | |
|---------|--------|------------|------------|
| 1. アクバル | 2. パール | 3. スレイマン1世 | 4. バヤジット1世 |
|---------|--------|------------|------------|

[16] 空欄[16]に該当する最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- | | | | |
|-------------|--------|-----------|-----------|
| 1. マンサブダール制 | 2. テマ制 | 3. デヴシルメ制 | 4. プロノイア制 |
|-------------|--------|-----------|-----------|

[17] 空欄[17]に関する説明として最も適切なものを、次の1～3の中から1つ選びなさい。すべてが誤っている場合は0をマークしなさい。

1. 歩兵で組織され、火炮を主要な武器とした。
2. 征服地の徴税権を分与された騎士であった。
3. 自費で武具を調達した重装歩兵であった。

[18] 【資料A】で言及された出来事と同じ世紀におこった出来事として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 壬辰・丁酉の倭乱 | 2. 永楽帝の即位 |
| 3. チンギス＝ハンの即位 | 4. ムガル帝国の建国 |

【資料B】

教皇の神聖と寛容により、皇帝の助言と努力により、ポーランド王の遠征により、選帝侯たちの活躍により、すなわち、戦う帝国と祈る聖職の結び合わされた力により、この上なき大義における皆の賞賛に値する協調により、イエス・キリストの助力により、もっとも反キリスト教的な君主に対するもっともキリスト教的な君主であるフランス王の助力無しに、ウィーンは解放されている。

(出典『世界史史料2 南アジア・イスラーム世界・アフリカ 18世紀まで』、一部、問題作成のために修正を加えている)

【解説】

【資料B】は、オスマン帝国による第2次ウィーン包囲の失敗を伝えた印刷物である。16世紀に、オスマン帝国は21でキリスト教徒の連合艦隊に敗れ、西地中海への勢力浸透を阻止され、サファヴィー朝によりイラクを奪われた。さらに【資料B】が示すとおり、第2次ウィーン包囲が失敗し、23でハンガリーを含む広い領土を失った。

19 【資料B】が出された時期の、下線部19に即位していた最も適切な一族を、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. ハプスブルク家 2. ホーエンツォレルン家 3. ヴァロワ家 4. ブルボン家

20 【資料B】が出された時期の、下線部20について最も適切な説明を、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. オランダ侵略戦争をおこした。
2. ナントの王令を発した。
3. ポーランド分割に参加した。
4. 全国三部会を開催した。

21 空欄 21 に該当する最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. プレヴェザの海戦 2. サラミスの海戦 3. アクティウムの海戦 4. レパントの海戦

22 下線部22の際の、サファヴィー朝君主として最も適切な人物を、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. アブデュルメジト1世 2. アウラングゼーブ
3. アッバース1世 4. シャー＝ジャハーン

23 空欄 23 に該当する最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. ウェストファリア条約 2. カルロヴィッツ条約
3. キャプタ条約 4. アイゲン条約

24 次の(ア)・(イ)の出来事と、【資料B】で描かれた出来事を左から古い年代順に並べるとどのような順番になるか、次の1～6の中から1つ選びなさい。

(ア)チャルディラーンの戦い (イ)アンカラの戦い

1. (ア)→【資料B】→(イ) 2. (ア)→(イ)→【資料B】 3. (イ)→【資料B】→(ア)
4. (イ)→(ア)→【資料B】 5. 【資料B】→(ア)→(イ) 6. 【資料B】→(イ)→(ア)

Ⅲ 20世紀前半の世界における政治・社会・文化に関する次のA～Fの文を読み、**25**～**36**の間に答えなさい。

- A 1909年にアメリカの**25**が北極点、1911年に**26**のアムンゼンが南極点に到達したといわれる。
- B 第一次世界大戦は、銃後の女性²⁷やヨーロッパ以外の地域の住民を含む総力戦として戦われた。
- C 1917年、ロシアで革命がおこり、革命政府はドイツと**30**を結んで、第一次世界大戦から離脱した。
- D 1920年に国際連盟²⁹が創設されたが、提唱国であるアメリカは参加しなかった。
- E 第一次世界大戦後、旧オスマン帝国地域³¹やインド³²、その他のアジア地域³³ではナショナリズムにもとづく独立運動が盛んになった。
- F 第一次世界大戦や科学技術の発展にともない、多様な思想・学問³⁵や文化・芸術³⁶が展開した。

25 空欄**25**に該当する最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- | | | | |
|----------|-------------|--------|---------|
| 1. スタンリー | 2. リヴィングストン | 3. ピアリ | 4. ヘディン |
|----------|-------------|--------|---------|

26 空欄**26**に該当する最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- | | | | |
|---------|---------|-----------|----------|
| 1. フランス | 2. イギリス | 3. スウェーデン | 4. ノルウェー |
|---------|---------|-----------|----------|

27 下線部27に関連して、第一次世界大戦と第二次世界大戦の間に女性参政権が獲得された国として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- | | | | |
|---------|-------------|------------|--------|
| 1. イギリス | 2. ニュージーランド | 3. オーストラリア | 4. スイス |
|---------|-------------|------------|--------|

28 下線部28に関する説明のうち最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. イギリスは、フサインとの間にサイクス・ピコ協定を結んだ。
2. イギリスは、パレスチナにユダヤ人の郷土を設定することを認めた。
3. フランスは、インドやモロッコから人々を戦争に大量に投入した。
4. フランスは、イランに戦後の自治を認めて戦争協力させた。

29 下線部29に関する説明として最も適切なものを、次の1～3の中から1つ選びなさい。すべてが誤っている場合は0をマークしなさい。

1. レーニン率いるボリシェビキは、「四月テーゼ」を発表した。
2. トロツキーは、一国社会主義論を唱えてスターリンと対立した。
3. ソヴィエト政権は、各国共産主義政党の国際組織である第2インターナショナルを創設した。

30 空欄**30**に該当する最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. ロカルノ条約 | 2. トリアノン条約 |
| 3. ラパロ(ラパッロ)条約 | 4. プレスト＝リトフスク条約 |

31 下線部31に関する説明として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. 本部はスイスのジュネーヴに置かれた。
2. 世界貿易機関(WTO)などを設置した。
3. 日本は非常任理事国に選ばれた。
4. 旧ドイツ領だったグアムなどを日本の委任統治領とした。

32 下線部32に関する説明として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. アメリカ大統領ウィルソンは、「平和に関する布告」を示した。
2. ハーディング、クーリッジ、フーヴァーの3代にわたり民主党政権が続いた。
3. 第一次世界大戦後、アメリカは最大の債権国となった。
4. 1924年の移民法でヨーロッパからの移民が事実上禁止された。

33 下線部33に関する説明として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. 敗戦国となったオスマン帝国はローザンヌ条約を締結し、領土分割された。
2. ムスタファ＝ケマル率いる祖国解放運動の結果、トルコ王国が樹立された。
3. 第一次世界大戦後もシリアはフランス、イラクなどはイギリスの委任統治領とされた。
4. サウジアラビアではレザー＝ハーンによりサウジアラビア王国が樹立された。

34 第一次世界大戦後に下線部34でおこった出来事の説明として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. 日本の統治下にあった朝鮮では三・一独立運動がおこった。
2. チベットではダライ＝ラマ13世がチベット独立の布告を出した。
3. インドではティラクらの指導のもと非協力運動が展開された。
4. フィリピンでは維新会が結成され、独立運動が進められた。

35 下線部35に関する説明として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. ドイツの哲学者ブローデルは、『西洋の没落』で西洋文明の没落を唱えた。
2. アメリカの哲学者デューイは、プラグマティズム(実用主義)を確立した。
3. ドイツの社会学者サルトルは、支配の構造や宗教と社会の関係を追求した。
4. ドイツの経済学者フロイトは、自由放任主義を批判する近代経済学を確立した。

36 下線部36に関して以下の作家とその著作の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. マーク＝トウェイン—『失われた時を求めて』 | 2. サイード—『カタロニア讃歌』 |
| 3. ヘミングウェイ—『審判』 | 4. 魯迅—『狂人日記』 |

Ⅳ 憲法の歴史に関する問1～問5に答えなさい。

問1 次の先生と生徒の会話文を読み、**37**～**40**の問いに答えなさい。

先生：今回は、憲法の歴史について学習します。皆さん予習はしてきましたか。

佐藤：近代の憲法で重要なものといえば、³⁷アメリカ合衆国憲法です。この憲法の制定は、18世紀のことですから、憲法の歴史を学ぶうえで、無視することはできません。

井上：大日本帝国憲法の制定も重要だと思います。東アジア諸国の中で最初に成立した近代憲法ですし、この憲法は日本における³⁸議会の開設など、日本の近代化に大きな役割を担いました。

木村：オスマン帝国の宰相**39**が中心となって起草した憲法も重要だと思います。イスラーム世界では、これが、初の近代憲法とされているからです。

先生：皆さん、よく予習をしていますね。他にも、フランス革命の際に制定された憲法も重要といえますね。というのも、フランス革命の際には、国家の在り方をめぐる議論がなされ、様々な憲法が起草されたからです。例えば、⁴⁰立憲君主政を柱とした1791年の憲法、あるいは権力の集中を避けた1795年の憲法などが制定されました。さて、これから追加の資料を配布しますので、憲法に関する歴史について、各班に分かれて、考えてみてください。

37 下線部37の制定時の説明として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. この憲法では、三権分立制が採用された。
2. この憲法では、男性普通選挙制が採用された。
3. この憲法では、一院制が採用された。
4. この憲法では、立憲君主政が採用された。

38 次の(ア)・(イ)の出来事と、下線部38を左から古い年代順に並べるとどのような順番になるか、次の1～6の中から1つ選びなさい。

(ア) ロシア帝国における国会の開設

(イ) ドイツ帝国における帝国議会の設置

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| 1. (ア)→(イ)→下線部38 | 2. (ア)→下線部38→(イ) | 3. (イ)→(ア)→下線部38 |
| 4. (イ)→下線部38→(ア) | 5. 下線部38→(ア)→(イ) | 6. 下線部38→(イ)→(ア) |

39 空欄**39**に該当する最も適切な人物を、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- | | | | |
|-----------|-------------|--------------|---------|
| 1. アフガーニー | 2. ミドハト＝パシャ | 3. ムハンマド＝アリー | 4. ホメイニ |
|-----------|-------------|--------------|---------|

40 下線部40の説明として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. 国民公会は、この憲法を採択した。
2. 総裁政府は、この憲法を採択した。
3. この憲法に基づいて、立法議会が成立した。
4. この憲法に基づいて、統領政府が成立した。

問2 1班は、配布資料の中で、ベルギーの憲法の条項が書かれた【資料A】に注目した。次の【資料A】および1班の会話文を読み、**41**～**43**の問いに答えなさい。

【資料A】

第80条第2項

国王は、両議院の合同集会において、以下の宣誓を行うまでは、王位につくことができない。

「私は、ベルギー人民の憲法と法律を遵守し、国家の独立と領土の保全を維持することを誓う。」

(出典 『世界史史料6 ヨーロッパ近代社会の形成から帝国主義へ 18・19世紀』、
一部、問題作成のために修正を加えている)

佐 藤：ベルギーは、**41**が主催したウィーン会議で、オランダに併合されることが決められたけど、この【資料A】の憲法が制定される前年に、独立したみたいだね。

山 本：この【資料A】には、ベルギーの独立と同じ年に勃発した革命の影響がみられるね。

佐 藤：そうだね。国王の権力を制限しているというのが重要な点だし、このような国の在り方を⁴²立憲君主政⁴³と
いうのだろうね。

山 本：他の立憲君主政の国の憲法と比較してみたいね。

41 空欄**41**の説明として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. この人物は、セントヘレナ島へ追放された。
2. この人物は、社会主義者鎮圧法を制定した。
3. この人物は、三月革命の際に亡命した。
4. この人物は、農奴解放令を発した。

42 下線部⁴²の説明として最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

1. この革命によって、第二共和政が成立した。
2. この革命の勃発のきっかけは、血の日曜日事件であった。
3. この革命を題材に、ドラクロワは「民衆を導く自由の女神」を描いた。
4. この革命によって成立した政権は、「土地に関する布告」を出した。

43 下線部⁴³を採用している国として最も適切なものを、次の1～3の中から1つ選びなさい。すべてが誤っている場合は0をマークしなさい。

1. 神聖同盟が結成された時のロシア
2. 英仏協商が結ばれた時のフランス
3. ドイツ連邦が結成された時のプロイセン

問3 2班は、配布資料の中で、清朝の憲法大綱の条文が書かれた【資料B】に注目した。次の【資料B】および2班の会話文を読み、**44**～**46**の問いに答えなさい。

【資料B】

一、官制の設置、官の賞罰を決定する権限をもつ。人事権は皇帝が掌握し、大臣が輔弼する。議院は関与し得ない。
一、宣戦・講和・条約締結および外交官の派遣と認証の権限をもつ。国交の事は、皇帝によって親裁され、議院の議決を経ない。

(出典 『世界史史料9 帝国主義と各地の抵抗Ⅱ 東アジア・内陸アジア・東南アジア・オセアニア』、一部、問題作成のために修正を加えている)

井 上：【資料B】は、光緒帝の治世下で発布された憲法大綱だね。

本 田：光緒帝といえば、**44**らによる改革があったよね。でも、その改革は西太后らによって潰されること⁴⁵になったけど。それにしても、この憲法大綱では、皇帝の権限が強くて、議会の権限が弱そうだね。

井 上：この二つの条項が、皇帝大権を定めているからだと思うよ。でも、程度の差こそあれ、皇帝や国王がいる国では、議会の権限は制限されるのではないかな。

本 田：なるほど。それじゃ、他の国の立憲君主政について調べてみよう。

44 空欄 **44** に該当する最も適切な人物を、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 康有為 | 2. 曾国藩 | 3. 李鴻章 | 4. 林則徐 |
|--------|--------|--------|--------|

45 次の(ア)・(イ)の出来事と、下線部45が示す出来事を左から古い年代順に並べるとどのような順番になるか、次の1～6の中から1つ選びなさい。

(ア)義和団事件(義和団戦争)の勃発 (イ)辛亥革命の勃発

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| 1. (ア)→(イ)→下線部45 | 2. (ア)→下線部45→(イ) | 3. (イ)→(ア)→下線部45 |
| 4. (イ)→下線部45→(ア) | 5. 下線部45→(ア)→(イ) | 6. 下線部45→(イ)→(ア) |

46 【資料B】に関する下のa・bの記述について、正誤の判断として正しいものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- a. 【資料B】の公布により、清朝では、科挙に合格した者が、皇帝によって、役人に任命された。
b. 【資料B】の公布により、清朝では、他国との条約締結が、議会の権限によって、決定された。

- | | | | |
|-----------|-----------|--------------|-------------|
| 1. aのみ正しい | 2. bのみ正しい | 3. a・bともに正しい | 4. a・bともに誤り |
|-----------|-----------|--------------|-------------|

問4 3班は、配布資料の中で、オスマン帝国の憲法の条項が書かれた【資料C】に注目した。次の【資料C】および3班の会話文を読み、**47**～**49**の問いに答えなさい。

【資料C】

第8条 オスマン国籍を有する者はすべて、いかなる宗教宗派に属していようとも例外なくオスマン人と称される。オスマン人の資格は、法律の定めるところにより、取得または喪失される。

(出典 『世界史史料8 帝国主義と各地の抵抗Ⅰ 南アジア・中東・アフリカ』、
一部、問題作成のために修正を加えている)

木村：この【資料C】に書かれた憲法で、注目すべき点は、オスマン人という区分だね。

渡辺：そうだね。当時のオスマン帝国に住んでいた様々な人々を考えると、面白い区分だね。ただ、この憲法は、**48**の勃発を契機に、アブデュルハミト2世によって停止されたんだよね。

木村：でも、青年トルコ革命の際に、オスマン帝国では、立憲政治が再開されるんだよ。

渡辺：確かに。そういえば、青年トルコ革命がおこった時に、すでに**49**でも立憲革命がおこっていたし、この頃は、一つの転換期だったのかもね。

47 下線部**47**に含まれる最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. アテネに住むムスリム | 2. ソフィアに住むキリスト教徒 |
| 3. セヴァストープリに住むユダヤ教徒 | 4. ブダペストに住むユダヤ教徒 |

48 空欄**48**に該当する最も適切な戦争を、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 第1次バルカン戦争 | 2. 第2次バルカン戦争 |
| 3. クリミア戦争 | 4. ロシア＝トルコ戦争 |

49 空欄**49**に該当する最も適切なものを、次の1～4の中から1つ選びなさい。

- | | | | |
|--------|--------|---------|------------|
| 1. イラン | 2. インド | 3. エジプト | 4. サウジアラビア |
|--------|--------|---------|------------|

問5 【資料A】～【資料C】に記載された憲法などの制定や発布を左から古い年代順に並べるとどのような順番になるか、次の1～6の中から1つ選び、その番号を**50**にマークしなさい。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 【資料A】→【資料B】→【資料C】 | 2. 【資料A】→【資料C】→【資料B】 |
| 3. 【資料B】→【資料A】→【資料C】 | 4. 【資料B】→【資料C】→【資料A】 |
| 5. 【資料C】→【資料A】→【資料B】 | 6. 【資料C】→【資料B】→【資料A】 |